

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス上福岡		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 10日		～ 2026年 1月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日		～ 2026年 1月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用する曜日によって異なる学校、異なる年齢の児童がいるため、人間関係の構築や他者とのコミュニケーションが多く行えること。	社会性を意識した、日常生活動作の訓練や個別で取り組んでいる療育、学習支援。	施設内だけでなく、地域イベント等に積極的に参加し、より実践的な社会性を身につける機会を増やしていきたい。
2	支援級5校、特別支援学校3校と近隣の地域も含め、地域に根付いた支援を行っています。	近隣学校等の複数個所で児童の受け入れを行い、様々な年齢やお友達と関わる環境を整えています。	上記同様に積極的に外部のイベントに参加し、地域に根付いた活動を行っています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関との連携が限定的で情報交換や共有が十分ではない。	関係機関との繋がりが弱く、事業所の認知が不足している。	関係機関との会議等に参加し、共有を図る。
2	職員の経験年数や専門性にばらつきがあり、支援の質を均一化することが課題となっている。	指導員の職種や経験年数に差があり、支援の捉え方や対応方法にばらつきが生じているため。	日常支援における関わり方を文書化し、支援の基準を明確にする。 また、随時共有を行うことで統一化を図る。
3			